

【テーマ設定型寄附】

—全 16 事業—

寄附者様がテーマを設定した趣旨

株式会社伊藤園 様 テーマ：奈良県内の森林・水・生物多様性保全事業

奈良県は、世界に誇る多くの歴史文化遺産と、それらと一体をなす歴史的風土豊かな自然環境に恵まれた地であり、その美しい景観を守り育てていかなければなりません。伊藤園では、そのために県民・事業者・行政の適切な役割分担と協働を行い、地域を活性化し、豊かな生活を引き継いでいく為に支援キャンペーンを行います。奈良県で本キャンペーンについて広く周知し、奈良県内の森林・水・生物多様性保全事業への活用、およびこの事業に伴う地域活性化への貢献についての認知・理解促進に取り組み、支援への賛同を募ります。



▲R6年4月 寄附受領式

大和信用金庫 様 テーマ：大和川水系の水環境改善活動

奈良県民の憩いの場であるべき大和川は、全国1級河川ランキングワーストを脱却し、水質の改善が進んでいます。大和信用金庫は、地域社会とともに歩む地域の金融機関として、大和川のBOD（生物化学的酸素要求量）値の改善度合いに応じて金利を上乗せする「大和川定期預金」の取扱いなど、水質改善に向けた幅広い活動を行っています。

今回、大和川水系の水環境改善に取り組む団体の活動を支援することで、さらなる環境改善に役立てていただきたいと思います。



▲R6年1月 寄附受領式

イオングループ 様 テーマ：奈良の文化遺産やまちなみの保全事業 (イオンリテール株式会社様、マックスバリュ西日本株式会社様、株式会社ダイエー様)

私たちイオングループは、「お客様を原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念のもと、様々な環境・社会貢献活動に取り組んでいます。奈良県には、文化遺産をはじめ、近世の面影を残す歴史的なまちなみを有する地区も数多く存在します。

今回、「古都ならWAON」カードの利用金額の一部を寄附し、奈良の文化遺産やまちなみの保全活動、及びそれらを活用した地域の活性化活動を支援することで、「古都なら」の保全・活性化に役立てていただきたいと思います。



▲R6年9月 寄附受領式

奈良県青少年育成ボランティア協会 様 テーマ：地域の子ども・若者の健全育成事業

地域のグループや団体等による、子どもや若者を対象とした活動や子どもと大人が一緒になって取り組む活動、あるいは青少年による地域貢献活動などで、地域で子どもを育てる力の向上や青少年の健全育成に繋がる取り組みに役立てていただきたいと思います。

※寄附受領日は平成29年4月19日。解散に伴う寄附。

里山散策コースの整備とホタル観察会等のイベントの実施

特定非営利活動法人 山野草の里づくりの会

実施目的

里山の自然に触れることができるように、自然観察の散策路の整備に取り組む。また、ビオトープ活動とともに一般参加者を募集するイベント、ホタルのタベ（ホタル観察会）を実施する。

実施内容

- ・老朽化した斜面の階段の整備。小川沿い散策コースの道普請。
- ・三谷集落の駐車場の草刈り、周辺道路掃除。
- ・ビオトープ活動。
- ・ホタルのタベの実施および里山観察等の散策路の整備の取り組み。

<期間>

2024年4月1日～2025年3月31日

<場所>

桜井市大字三谷とその周辺地域

<対象>

本会会員、活動の参加者、一般募集イベント参加者

<スケジュール>

2024年

6月29日

ホタルのタベ

7月6日、10月5日、12月14日 村の駐車場、周辺道路掃除

7月27日

里山自然体験 in 山野草の里 山の日川の日イベント

4月～3月（雪・凍結により1、2月は中止）ビオトープ活動

- ・生き物観察、田植え、水生昆虫観察、水入れ、散策路整備
- ・春日山原始林探索参加
- ・栗拾い、稲刈り、芋掘り、脱穀作業、そばの刈り取り
- ・餅つき、椎茸菌打ちほか

事業の様子



実施効果

三谷菅原神社前の駐車場および道路の掃除を初め、小川沿いの道普請、斜面の階段の設置にも取り組むことができ、積極的にイベントを開催した。「ホタルのタベ」はスタッフ含め100人の参加者が集まる規模となった。

また、山の日、川の日イベント「里山自然体験」のほか、田植え等のイベントも開催することができた。

事業総額：
345,137円

補助金額：
200,000円

団体名：

特定非営利活動法人
山野草の里づくりの会

所在地：

桜井市大字三谷528

代表者：

理事長 村上 秀夫

設立の目的：

大和川本流源流地域における自然保護及びまちづくりに関する事業、及び日本原産の山野草の種の保全を目指して、環境保全及び環境を生かしたまちづくりに寄与することを目的とする。

寄附者からの声

弊庫寄附金をはたらの生育環境の保全活動や里山の環境整備活動に活用頂き有難うございます。

今後も大和川源流に位置する三谷「山野草の里」の環境整備、環境保全を活かしたまちづくり活動に期待しております。

自然環境と景観の保全活動を通じて、大和川水系の水環境改善活動を行う事業

高畑自然教室

実施目的

高畑町境界は豊かな自然に囲まれており、“能登川の水底さへに照るまでに御笠の山はさきにけるかも”と、かつての万葉集にも詠われた日本の原風景が今も多く残されている。特に私たちの活動場所である能登川上流においては蛍が飛び交い、自然豊かな場所において見られる樹木や植物、昆虫や小鳥等生き物が豊かに生息しています。この貴重な高畑の水環境・景観を守り改善していくために、親子で共に保全活動に取り組むことを目的とする。

実施内容

- ・能登川のホタル環境保全
- ・里山杉林竹林で景観形成
- ・春日山の花、生き物観察
- ・親子活動
- ・さとやまっこ工房木工体験
- ・地域協力事業

<期間>

2024年4月1日～2025年3月31日

<場所>

春日山、滝坂の道、能登川流域、白毫寺県有杉林（里山）、法蓮町県有竹林

<対象>

高畑町、能登川流域、高畑自然教室の皆様

<スケジュール>

5月～6月

竹林筍掘り（5/21）、遊歩道清掃（5/22・26）、蛍調査（6/25まで）、親子田植え（6/1）

6月～7月

木工作品準備（6/24・7/16）、水中生物観察（7/25）

8月～10月

能登川清掃等（8/9）、竹林整備（8/26）、協働清掃（9/9-9/25）、親子稲刈り（10/1）等

11月～3月

椎茸収穫（11/29）、クリスマス木工制作（12/25）、野鳥観察（2/11）等

,

団体名：

高畑自然教室

所在地：

奈良市高畑町 1340-1

代表者：

校長 藤川綾子

設立の目的：

日本の原風景が多く残されている貴重な高畑の自然環境を、樹木や植物、昆虫や小鳥等、生き物が豊かに生息する環境として、未来に引き継いでいくことを目的とする。

事業の様子



実施効果

今年度も春日山を源流とする能登川の環境保全に注力し、特に蛍の生息環境を守った。5月の飛鳥中学校裏遊歩道清掃には20名以上が参加し、蛍観察会も開かれ約100名が集まった。東紀寺能登川清掃および水質検査によってゴミの量が削減、里山の間伐採を使った木工作品の販売や環境学習会も実施し、新規参加者も増加した。気候変動の中でも蛍の数が維持されており、地域の環境改善に貢献している。

寄附者からの声

弊庫寄附金を自然環境と景観の保全活動を通じた、大和川水系の水環境改善活動事業に活用頂き有難うございます。

引き続き、春日山を源流とする能登川の環境保全活動や環境保全の大切さを啓蒙していかれる活動に期待をしております。

生駒山森林保全を次世代に繋ぐ「お山元気プロジェクト connect the baton」

特定非営利活動法人 いこま山の子会

実施目的

危険木伐採、遊歩道や竹林の整備、清掃をする事で子どもたちが遊ぶスペースを広げ、過ごしやすい場所とすることを目的とする。そして、生駒山で自然の中で遊ぼうと思う人を増やすとともに、実際に整備を体験し過程を知る機会を提供することで、次世代を担う子どもたち（又その親世代）に森林保全に興味関心を持ち、将来を担っていく人が増えることを願い実施する。

実施内容

弊会会員と生駒市森林保全ボランティア団体「いこま里山クラブ」、危険木伐採専門業者「しぜんぼたん堂」、宮村建築工房と共同し、年間を通じて生駒市滝寺周辺の森林保全活動を行う。通年 7 回開催の内 2 回は伐採の様子を見学出来るイベントとする。

＜期間＞

2024年4月1日～2025年3月31日

＜場所＞

生駒市 滝寺公園

＜対象＞

未就学親子

＜スケジュール＞

2024年6月16日 遊歩道等整備（宮村建築工房と協力）

9月14日 イベント開催 間伐作業見学（自然ボタン堂）

11月8日 清掃活動

11月18日 竹林整備（里山クラブ）

1月14日 イベント開催 間伐作業見学会（しぜんぼたん堂）

3月9日 遊歩道整備（宮村建築工房と協力）

3月10日 竹林整備（里山クラブ）

事業の様子



実施効果

年間を通じて滝寺周辺の危険木撤去や清掃・整備を行い、安心して過ごせる環境を整えた。9月と1月に実施した「お山元気プロジェクト」には延べ68名が参加。1月の高所伐採は迫力、技術が好評だったものの参加者が少なかったため、今後は開催時期の見直しも検討したい。子どもたちとの交流もあり、関心や学びの機会となった。会員や地域団体の協力で整備が進み、成果が実感できた。今後も多くの人が参加できる活動を継続・発展させていきたい。

事業総額：
202,361円

補助金額：
200,000円

団体名：

特定非営利活動法人

いこま山の子会

所在地：

生駒市山崎新町 1-40

代表者：

代表理事 紀村 典子

設立の目的：

子どもや青少年、及びその保護者、関係者に対して、自由保育、自由教育に関する事業を行い、すべての人が自分らしく生きられる社会づくりに寄与することを目的とする。

寄附者からの声

弊社の寄附を生駒山の整備・保全活動、子どもたちへの環境学習にご活用頂き有難うございます。今後も美しい自然景観と自然とふれあえ、安心して遊べる環境を守っていただく活動に期待しております。

奈良盆地の特定外来生物クビアカツヤカミキリの動向と防除対策

樹木環境研究会議

実施目的

県内のクビアカツヤカミキリによる被害は、西部から目に見えて拡大し奈良市内まで広がった。クビアカツヤカミキリは桜樹に限らず、ウメ、モモなどにも加害しこれらの樹木を枯死させる。奈良盆地の桜樹、ウメ、モモは寺社境以外にも多く植栽され大切に維持管理されている。クビアカツヤカミキリによる危機的な被害拡大を防ぐため、樹木医の専門的な知識・技術を用い被害拡大の現状や、それぞれの桜樹などにあった最適な予防・駆除方法を見つけ出すことを事業目的とする。

事業総額：
427,720円

補助金額：
400,000円

実施内容

・事前調査や現地調査で得られた情報を基に、樹木医有資格者による特定外来生物クビアカツヤカミキリの動向を整理し対処方法などを検討して、被害の防止に努めることが必要である。桜樹、ウメ、モモなどの対象樹木に合った予防・駆除方法の資料を作成し、関係する管理者などに「報告書」を提出。

〈期間〉

2024年4月1日～2025年3月31日

〈場所〉

奈良市内クビアカツヤカミキリ被害地域

〈対象〉

被害樹木（桜樹、ウメ、モモ）

〈スケジュール〉

2024年

4月～6月 文献・資料調査、調査方法等の打ち合わせ

【1回目】現地調査（6日）

7月～10月 【2回目】現地調査（4日）3日+1日（0.25日×4回）

2025年

2月 【3回目】現地調査（4日）3日+1日（0.25日×4回）

3月 報告書提出

団体名：

樹木環境研究会議

所在地：

奈良市平松

3丁目20-14

代表者：

理事 天野 孝之

設立の目的：

樹木医の知識と技術を通じて、県内の巨樹、名木等の文化財を初めとする樹木、緑地・森林等の保全、樹木文化の継承と発展及びこれらの普及啓発に関する活動等を地域社会と連携して行うことにより広く環境の保全に寄与することを目的とする。

事業の様子



実施効果

発生すると、被害拡大が激しくなる傾向が強い。被害木が翌年、翌々年には加害木になるため、早期対応が必要であり被害木が加害木になるのを防ぐ必要がある。「報告書」に示した「対応できる予防・駆除方法」を参考に、丁寧な対応を継続的に実施し、クビアカツヤカミキリ被害の防除対策となることを期待したい。

寄附者からの声

古都ならの景観を彩る貴重な樹木保護に「古都なら WAON」の寄附金を活用頂き有難う御座います。

今後も被害拡大防止に向け、ご継続されます様、お願いします。

世界でここだけにしかない、映画資料の保全と発信

宇陀キラ倶楽部

実施目的

明治後期に建てられ、昭和初期以降は映画館として地域に愛されてきた旧芝居小屋「喜楽座」に残る、映画館時代の資料について、専門家の指導助言を仰ぎながら保全と整理を行った。また、1962年4月から時間が止まったままの映写室が世界中探してもここだけの超貴重な場所である事を踏まえ、この状況をいかに後世に受け渡すかの検討を行う。

実施内容

昨年、総量を把握し分類作業を行って格納した資料のうち、今年度は写真資料の整理と資料の撮影、データベース化を行った。当団体と、神戸大学板倉研究室で作業を分担し資料整理を実施。また、防犯および安全上の理由で通常非公開になっている喜楽座の映写室を紹介・解説するための動画を専門家の監修を受けながら制作し、WEB上に公開を行った。

<期間>

2024年5月1日～2025年3月31日

<場所>

神戸大学板倉研究所、喜楽座、旧森岡医院（資料整理）

<対象>

映画の運営資料に興味を持つ人、昔の映画館に興味を持つ人

<スケジュール>

10月4日

神戸大学にて初回打ち合わせ

11月1日～3月31日

順次、神戸大学と作業分担を行い、写真仕分け、資料の撮影、データベース化を進める。

3月23日

神戸大学板倉研究室および鳥取大学佐々木友輔准教授の現地調査および映写室の紹介動画撮影作業

3月31日

資料調査および動画編集作業終了。

事業総額：

401,378円

補助金額：

400,000円

団体名：

宇陀キラ倶楽部

所在地：

宇陀市大字陀

下出口2266

代表者：

代表 田川 新一朗

設立の目的：

旧芝居小屋「喜楽座」の活用を通じて、地域の文化的向上、宇陀の魅力発信、質の高い交流の促進に努めることを目的とする。

事業の様子



実施効果

20箱以上ある資料の内、販促用ブロマイド等は整理・データベース化し、特に珍しいものは研究室への依頼によって価値を裏付けられたほか、必要とする人へ役立ててもらおう準備を行った。また、非公開であった喜楽座映写室はWEB限定で公開できるようになった。資料整理作業と併せて今後の公開、資料活用、大学との連携のあり方について話し合い、中長期的な活動目標を整理する必要があることを確認した。引き続き、資料の保管と活用について取り組んでいきたい。

寄附者からの声

地域の貴重な文化遺産にスポットをあて、未来に継承する役割を担った地道な作業ご苦労様です。

今後は更に広く発信されると共に、地域振興へのご活用等、ご期待申し上げます。

奈良県橿原市今井町重要伝統的建造物群保存地区内に居住する単身・高齢世帯の実態、保存意識及び住まいの処遇とまちなみ保全の関係性に関する事業

NPO 法人今井まちなみ再生ネットワーク

実施目的

伝建地区において以下の実態を明らかにすることを目的とする

- ・単身・高齢世帯の生活実態、特に孤立・孤独問題の把握と予防方針
- ・単身・高齢世帯の伝建地区における保存意識および景観への影響
- ・単身・高齢世帯の今後の住まいの処遇実態および空き家予備軍の把握
- ・まちなみ保全

実施内容

環濠内の町における世帯数、後期高齢住居、後期高齢夫婦、前期高齢住居、前期高齢夫婦および空き家数の調査

<期間>

2024年4月1日～2025年3月31日

<場所>

ヒアリング調査：貸会議室「にぎわい邸」、今井地区公民館ほか

進歩報告会：華薨、大和信用金庫八木支店会議室

成果報告会：貸会議室「にぎわい邸」

<対象>

各地区自治委員、および対照地域内に居住する高齢者

<スケジュール>

調査日

2024年

5月18日、27日 6月9日、28日、7月14日、21日、24日

8月10日、18日、21日 9月6日、12日 10月8日、11日、13日、23日

11月8日、27日 12月1日、5日、8日、19日、21日

2025年

1月8日、23日、25日 2月10日、26日 3月23日、31日

事業の様子



実施効果

想定よりも高齢独居世帯、および高齢夫婦世帯が増えていることが判明し、さらなる孤立・孤独世帯の増加が今後の課題である。予防方針としては、多世代の居場所づくりが考えられる。保存意識が高い世帯が減り、建物を売却してもよいという世帯が増えている。今後のさらなる空き家の増加と景観の悪化が懸念され、まちなみ保全が課題である。

事業総額：
274,962円

補助金額：
274,962円

団体名：

NPO 法人

今井まちなみ再生ネットワ
ーク

所在地：

奈良県橿原市今井町1-
4-29

代表者：

会長 米村 博昭

設立の目的：

橿原市今井町重要伝統的建造物保存地区及びその周辺の歴史的な建築物や町並み等は貴重な文化財であり、これを保存再生し後世に継承するとともに、これを活かした「賑わいのあるまちづくり」を推進する事業を行い、橿原市今井町重要伝統的建造物群保存地区その周辺の活性化に寄与することを目的とする。

寄附者からの声

今井町町並み保存にご尽力された方々や保存意識の高い世帯の高齢化に伴う課題に対し、地道な実態調査ご苦労様です。

今後もこの貴重な町並みが継承されます事、願っております。